

仙台教区報

カトリック仙台司教区事務所
〒980
仙台市青葉区本町1丁目2番12号
☎ 022(2222)7371
FAX 022(2222)7378
編集・発行 板垣 勲

全国会議に向けて、みんなの声を聞こう

先頃開かれた司教総会で、長崎で開催することが決まっている第2回福音宣教推進全国会議（以下全国会議）の日程が来年10月21日〜24日と決まりました。会議のテーマも深められたものとして「家庭の現実から福音宣教のありかたをさぐる―神のみ旨にもとづく家庭を育てるために」と決定され、全国会議に向けての動きがさらに進められます。

この決定にさきだって全国会議事務局では「家庭」についての課題を決めるため、各教区からの課題を提出するように要請がありました。教区全国会議準備委員会では要請に応えるために、4月15日を期限として教区内から多くの声を寄せていただきました。

各地からの回答は多岐にわたり、課題をまとめることは簡単ではありませんでしたが、準備委員会では寄せられた41の回答をもとに仙台教区からの課題案を次のように4項目にまとめて、全国会議事務局に提出しました。

- ① 私たち教会が家庭を理解し、支えていくためにはどうしたらいいか。
- ② 家庭でキリスト教的価値観を育てるためには。
- ③ 家庭での信仰教育を考える。青少年を中心に。
- ④ 高齢化社会における家庭への配慮は。

全国会議の詳細は、これから教会内外の広報活動の中で伝えられることとなりますが、仙台教区ではどのような声があったかなるだけ原文のままにお伝えすることにします。

寄せられた声は全国会議のテーマに对应しているのが多いのですが家庭から福音を伝えるという観点の課題が少なくないように見受けられ

経済優先の世の中で子供の教育、家庭のありかたは？
(核家族、共働き、単身赴任)

信仰生活、信仰教育に問題があった、自立した信仰者を育ててこなかったのでは。

家庭生活を支える職場でのキリスト者のありかたは。

家庭よりも仕事を優先する考え方が、個人の尊重、信仰との結びつきを妨げているのではないか。

家庭を支える共同体を考えたい。悩み、苦しみを話し合える場がほしい。

社会を変えていくために、人の心を大切にする家庭生活について考えたい。

家庭内で家族、子供の信仰を守り、育てるにはどうすればいいか。親の姿を見て子供の信仰が育つ。

教会と社会の価値観のギャップが大きい。教えと伝統行事、習慣の違いに、大人も子供もどうすればいいかわからないでいる。

高齢期を迎えた人が神と社会にどのように奉仕できるか。

ます。個人、共同体、社会のことなど家庭に関連するいろいろの話題は「家庭は人間と信仰を育てるところ」とまとめることもできるようです。自分の信仰生活と家庭生活を振り返りながら耳を傾けてみてくださ

すべての面で学校優先にせざるを得ない社会の現実がある。クラブ、地域活動が義務となっているケースがある。

信仰生活、信仰教育に問題があって、自立した信仰者を育ててこなかったのでは。

子供の教育、躰の問題は親自身の生き方の問題、親の人生観が変わった？

離婚する夫婦が増えることで子供たちが大きな傷を受けている。

老人、病人、問題児といわれる子供を持つ家庭を理解すること。

高齢化が進んで将来に不安を感じている人が、信者の中にも多くいる。

国際結婚をしている人、家庭との関わり方は

家庭は人と人が交わりを結ぶ場であることを考えたい。現実には家族の絆が希薄になってきている

学校と家庭で行なわれる教育を大人が取り違えているのではな
いか。 道徳、躰の問題
子供の信仰教育について。



家庭の価値を見出させる教育と工夫は？

家庭で母親の信仰が重要な役割を果たしている。

教会から離れている子供たちに、家庭が何をできるか考えたい。

人格形成の基礎が家庭教育にあることを忘れない心を持ちたい。

老後に病気になったとき、誰が介護してくれるか不安。暖かい家庭で最後を過ごせないか。核家族、仕事優先のしわ寄せは老人に？。

家庭で信仰を保ち、未洗者の家族にも信仰を伝えていくにはどうすればいいか。

子供たちの豊かな心を育てるために、信者の家庭の交流をもっと密にしたい。

今年の特テーマ
「あの時は言えなかったけど、やっぱり言おうかな」

部門 作文または詩のいずれか一つ
応募対象と枚数(作文)
小学生 原稿用紙 1〜2枚
中・高生 “ 2〜3枚
(原稿用紙は四百字詰)

締切 9月22日(火) 必着
送り先 155世田谷区松原2-28-5
日本カトリック宣教研究所
「体験文」係

発表 93年1月24日カトリック新聞で
入選者には記念品
他は記念カード贈呈
※詳しくは宣教研究所まで

「福音の種子と芽生えを
見つけるための体験文」募集

昨年は七千通を越える応募がありました
が、多くはカトリック校からのものとな
っています。教会学校などの子供たちから
もっと応募してくれることを願っています。
自分が体験した出来事を、誰かに聞いて
もらうつもりで、気軽に率直に書いてくだ
さい。



一年後の完成に向けて
教区センター起工式

さわやかに晴れわたる汗ばむ陽気となった6月28日に、カトリック仙台司教区センターの新築工事、起工式が盛大に行なわれた。式典は教区長・佐藤司教、9名の司祭と工事関係者および150名以上の信徒が参列した賑やかなものとなった。当日は教区センターの建設地である元寺小路教会のお祝い日でもあり、二重の喜びでいっぱいになった。

佐藤司教は招きのことばの中で「新しい建物を本当に建ててくださるのは神であって、わたしたちはこの事業に神の協力者として奉仕します」と、起工式に至るまでの多くの人の労苦に感謝し、また、今後の工事が無事順調に進められることを神に願ったうえで、すべての人が神の恵みを忘れないうようにと自戒を込めて話した。

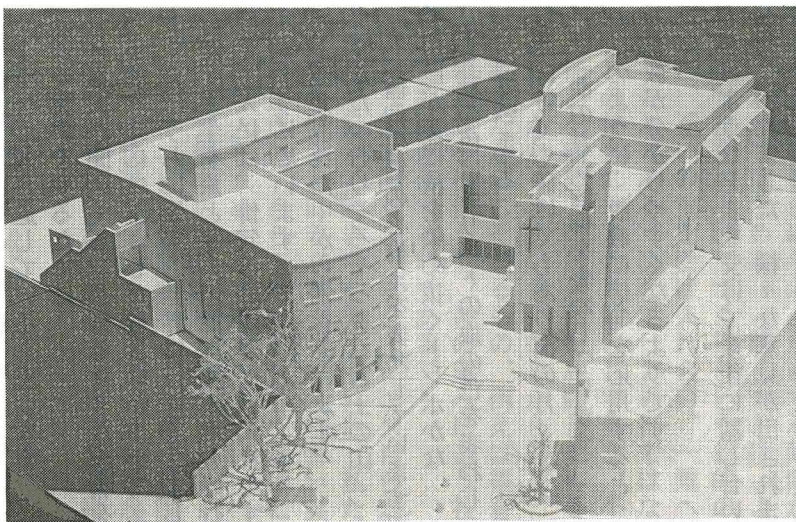
福音はルカ12章15〜21節が読まれ、参列者一同が神の前に生きる人の心構えの大切さをあらためて思い起こした。

次に、工事の安全と建設に携わる人たちの無事を願う共同祈願、土地と建設機材の祝福、設計者・施主・施工者の三者による鉄入れの儀が行なわれた。多くの人の期待と喜びに包まれて、起工式は滞りなく終わった。

引き続き、整地されて広々とした敷地内で開かれた祝賀会は、元寺小路教会婦人会の手によって準備された料理などを囲んで賑やかなものとなった。

一方、起工式をもって教区センターの工事は本格化した。教区センター建設委員会では、工事に要する資金の工面がまだ十分でないことを明らかにした。このため、第5回総会で資金計画の見直しを決めたことに基づいて、篤志家として建設資金の協力をしてくださる方を募ることになった。建設委員会では教区長名によるお願い文の発送に早速取りかかっている。

なお、建設資金の協力の呼びかけは広い範囲にわたっておこなわれるが、建設委員会では新たなご協力と、再度のご協力についても心から歓迎するとし、金額の多少ではなく心を込めた資金協力に応える人を待ち望んでいる。



典礼研修会に

参加して

佐々木 善英 (野田町教会)

第6回になる典礼研修会は名古屋の日本カトリック研修センターで、5月11日から3日間にわたって行なわれました。(仙台教区からは7名が参加した) 目的は日本のミサ典礼におけるこれまでの様々の試行・模索、およびこれから進むべき方向解決すべき課題の確認にあったと思われま

す。プログラムは発表者による話しに重点が置かれ、最後にこれを受けての話し合いが行なわれました。以下、おもな発表をプログラム順に内容をかいつまんで報告し、最後に話し合いへの感想を付け加えることにします。

○ザイルのミサ典礼

第2バチカン公会議の結果許されることになった自由を最大限に活用しているところに特徴があります。民族的な歌、舞踏がふんだんに取り入れられ、会衆は実に楽しそうにミサに参加していました。

○ミサ式次第の工夫

現行のミサ典礼書の総則を遵守した中でも工夫の余地があります。各地で答唱詩編の歌い出しに、オルガンでメロディーを弾いているのをみかけますが、その代わりに先唱者が歌い出せば、ミサの「流れ」はよりスムーズになります。アレル

ヤ唱でも同様です。また、会衆と聖歌隊の関係が対立的になりがちですが、パリノートルダム聖堂のやり方は参考になります。例えばあわれみの賛歌を最初は聖歌隊の少人数で歌い、2回目は会衆が歌い、3回目は会衆が歌い続ける中で聖歌隊が変化をつけて歌う、という方法が取られています。

○典礼における言葉づかいの問題点

特に葬儀の場合、未洗者が多いので不都合に感じられる言葉づかいがあります。

例 ① 神聖な祭りを祝う。(葬儀なのに祭りとして祝うとは) ② イスラエルの勝利を祈る(湾岸戦争時に限らず、分かりにくい表現) ③ 父よ(神なら違和感はない)など。

○青少年キャンプでの工夫

サレジオ会では青少年の召命発掘を目的として、毎年長野・野尻湖畔でバイブルキャンプを行なっています。聖書の山上の垂訓の箇所を湖と山が近くにあることを利用してシナリオ化し、子供たちが聖書の物語を再現しています。

○元旦、和室のミサの工夫

東京の東光庵では初日の出の光を通して神を礼拝する、という観点から元旦ミサを構成している。従来のミサにはこのような発想は少ないと思います。また、和室でのミサでは茶の湯の「調和の精神」を取り入れることを考えていま

す。正座のほうが落ち着ける人にはこのような形式が適していると思います。○よい説教をするために

日本人が聞いてピンと来るような説教をするためにはどうしたらよいか、を考えているうちに俳句の世界に行き着きました。人生を旅と感じ、簡潔な表現を好む日本人には、俳句の表現が受け入れやすいように思います。

紹介された中から例をあげます

* かたつむりそろそろ登れ富士の山

(信仰生活の心構えを表わしています)

* 己が身に秋を染め抜くトンボかな

(秋の色はキリストの血の色を表わしています)

* 砕けても砕けてもあり池の月

(池の月が信仰を表わしています)

このように、説教に俳句を応用すると、説教が分かりやすくなるようです。

このような発表を受けて最後に話し合いが行なわれました。様々な意見が出されましたが、印象的だったのは自分たちの典礼として「育てる」意識と態度が強調されたことです。様々な試みに対して批判することは容易ですが、「育てる」意識、態度を持つには意識的な努力が必要でしょう。



外国人労働者として教△△

築沢由美栄（オタワ愛徳修道女会）

経済発展のアンバランスにより、国際的に貧富の格差が増大するにつれて、貧しい国から豊かな国への出稼ぎ労働者が急増して、日本中で問題となっている。外国人労働者は旧約の時代から存在していて、やはり問題とされてきたようだ。申命記10章には「主は：寄留者を愛して食物と衣服を与えられる。あなたたちは寄留者を愛しなさい。あなたたちもエジプトの国で寄留者であった。」とある。これは、神から私たちへの大きなチャレンジである。

日本は敗戦後、国全体がひどく貧しかったとき外国から有形、無形の援助のもとに復興した歴史がある。衣料、社会福祉、教育等様々な分野に及んでいる。教会も外国の教会の援助をいただいた。そんな歴史を体験した日本人、特に日本のキリスト者は今苦しんでいる貧しい兄弟姉妹に対して何をしているのか。「自分たちの歴史を恵みとして受け止め、今苦しんでいる兄弟姉妹に心の目と耳を開きなさい。そして、応えなさい。」主の呼びかけが聴こえてくる。私たちは彼らの事情を知り、彼らと連帯して生きるように招かれている。

最近、私たちの小教区（東仙台）で、日本企業で人格無視の扱いを受けて困っていた外国人労働者との出会いがあり、教会に

具体的な動きが生じた。外国人労働者の問題は私たちの問題であり、彼らと心を開いて交わり知る程に、私たちの心が揺さぶられ、神からの呼びかけを聴き、何か行動を起こすことになる。行動につながるこそ信仰の証しである。それも、「私の」を越えて、「私たちの」になっていくことは信仰共同体の証しである。個から連帯へ、思いから行動へと開かれていく。

今、信徒自らが彼らと連帯して生きようと署名運動や「愛の一食運動」を始めた。これは自分の食事を犠牲にして外国人労働者を援助する基金とするため。その話しが小教区を越えて伝わり、他の小教区からも援助が寄せられている。

カトリック人口は日本では少ないが、カトリックだから大きな力になる。「互いに愛し合いなさい」というキリストの言葉を一致して生きていくように、信徒から生じた愛の炎が燃え広がるように、教会は協力しあわなければならない時である。信徒、修道者、司祭各々の使命を認め、助け合うときカトリックは大きな働きができる。教会の内においても、開かれた教会を生きるように呼びかけられている。

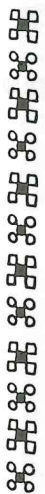
また、教会は社会に向けて開く時でもある。それはナザレのイエスが生きた姿でもある。社会に向けて自らを開き、兄弟姉妹の喜び、苦しみを知り、イエスのようにイエスとともに「捕われている人に解放を、

目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由に」するように働く。また、全ての人の内に働いている神の力を信じ、キリストを生きる望みを持つ一社会人として、目的を同じくする人々と連帯することも大切である。

これまでの教会は「開く」という時、教会にある善を社会に与えようとする傾向が強かったのではないか。「開く」とは「より善い」社会（み国）づくりという目的のために、互いの宝を受け入れ合い、一致へ向かうことである。決して一方通行ではない。この社会に一人の人間として生き、不正義に心を痛め、市民運動を展開している善意の人がたくさんいる。彼らから学び、かつ教会だからこそあるもの、例えば福音の価値観等を提供して、神の望みに適う社会のために連帯する時である。

ぶどう園で働くようにと、イエス自らが出かけて行って働き手を集められた。私たちもこの世界というぶどう園がより善い実になるように、自ら出かけていって謙遜に共に働く人を求めよう。

外国人労働者の問題は神からのチャレンジである。「自分の歴史をよく学び、外国人労働者の状況をつぶさに見て、愛を行なえ。そして、自分を、教会を、内に外に徹底して開け。」



司教さんの玉の汗

高梨 光太郎（一本杉教会）

聖霊降臨（ペンテコステ6月7日）の祝日に一本杉教会において、仙台中央ブロック（元寺小路、畳屋丁、一本杉教会）の51名の老若男女が佐藤司教から堅信の秘跡を受けた。

私も40何人目に秘跡を受ける者としてのその席に連なっていたのだが、何事が起きるのか期待と好奇心の交錯する私の前にも司教さんが来られた。司教さんは私の額に聖香油を塗ってから、肩に手を置き「主の平和」。随分と声に力が入っている。

私も「主の平和」と応答して司教さんを見上げると顔から玉の汗が滴り落ちるところだった。（一緒に堅信の秘跡を受けた一人は司教さんが倒れるのではないかと、心配していたそうだ）私の目の前で起きたことは、あの日のように「激しい風が吹いて来るような音」も「炎のような舌が見え」たのではないが、司教さんの「力強い声と玉の汗」という単純なことが私にとってその日のしるしだった。

しかし、この汗こそ現代の私たちにはふさわしい。なぜなら、「この時代にあつて聖性への道は行動の世界を歩んでいくことなしには有り得ない」（ダグ・ハマーショルド）のだから。玉の汗を流しながら秘跡を執行する司教

と、恵みに支えられて社会のただ中で汗だくになってキリストを証していく信徒。その光景は私にとって、司教（さらに司教の補佐役としての司祭）と信徒との一つのあるべき関係を示された時だった。

人生のこの時期に、汗だくの佐藤司教さんから堅信の秘跡を授けていただいたことはこのうえない恵みだった。ミサ中の主の祈りの時、私はこれまであまりに司教、司祭のために祈ることの少なかった自分を神様にお詫びした。汗だくの司教さん、献身的に準備をしてくれた神父さんの上に聖霊の一層の働きを祈りながら、私も汗をもつてこの恵みに応えていこうと思う。

――桂情報――



聖体奉仕者任命式

青森本町教会で6月21日に2回目となる奉仕者の任命式が行なわれた。佐藤司教から任命された奉仕者は9名。

校舎祝福式

仙台白百合小学校は校舎増築工事を終わり、6月30日に校舎祝福式を行なった。

カトリック宮城県大会

7月5日に「家庭」をテーマに五百人以上が参加して開催。シスター影山「家庭と信仰」の講話と分科会での話し合い。

カトリック研修センター 7・8月の企画

7月31日～8月3日 典礼研修コース
「典礼音楽・作詞作曲・歌唱指導」
講師 新垣壬敏、南雲正晴
費用 26,000円

8月4日～8月8日
東南アジア司牧研究所（EAPI）公開講座
「神の民 People of God」 通訳付
講師 EAPIスタッフ4名
費用 57,000円

8月3日～8月4日
「現代における祈りと宣教を考える」
講師 奥村一郎神父
費用 6,000円

8月9日 2～4時 EAPI公開講演会
「アジアにおける教会司牧
その新たな取り組み」
講師 EAPI所長 キング神父
入場料 800円 通訳付

*費用は食費・宿泊費込み

問合せ先

日本カトリック研修センター ☎052-831-5037

私とみことば



「私の出エジプト」

神の計らいをいただいて、今ここにいます！

大内 三枝子(三元寺小路教会)

〈あの時〉信仰の恵みをいただいていたいなかった私たちは、見えない方の大きな計らいを体験させていただいた。

私たちは主人の事業が失敗し(長女6才長男誕生直後)たくさんの方々に迷惑をかけてしまっ、居場所がなくなりどうしようもなくなって、とうとう夜逃げしなければならなくなった。

その夜は大雨、小型トラックを借り夜具をつけ、子供の手を取って主人と共に住み慣れた土地を後にした。大雨だったのが車を走らせているうちに小雨に変わり、他県へ朝方着いた。

ところが、借りられるはずの倉庫の二階を断わられ、荷を下ろす場所もなく、しかたなく野原の大きな銀杏の木の下に荷を下ろし子供たちを休ませた。家を捜し始め夕方遅く物置き代りにしているというアパートの一室が見つかり新聞をしいて子供を寝かせた。あちこち仕事を転々としていた主人はこの地でも信用がなく仕事を見つけても続かず思わしくなかった。こちらに来てもお金の返済に追われて、取り立ての見知らぬ人が出入りし、主人は帰宅しない日が

重なって、とうとう行方がわからなくなっ

た。知らない土地に主人だけを頼りに来た私は主人を捜しきれず、警察に届けたが行方不明くらいではどうしようもないと言われ一応の手続きをし警察を後にした。それから、生活のため内職、事務、倉庫番を始め。悪いことは続き監視の人がついて、離れなくなった。逃げ出そうと思っても、誰かに助けを求めたいと思っても恐くてどうしようもなかった。生きていることすら疲れていた。この時には子供たちの将来のことを思うことすら余裕がなかった。

でも一方では、逃げ出すため命がけの思いで心の準備をし、魚を焼くふりして外で書類を焼いた。見られたくないものは穴を掘って埋めた。逃げるチャンスを毎日毎日うかがっていた。

ある朝突然に監視の仲間の人が来て、急に用事が出来たといって監視の人が出かけた。この時しかないと思ってお金だけ持って着のみ着のまま子供の手を引き、抱いて飛び出した！ 私はいつも汽車に乗って逃げたら絶対つかまってしまうだろうと思っていたのでタクシーに飛び乗った。「行き先は」と聞かれても「大至急ここを離れてほしい」としか言えなかった。後から追いかける恐怖心から、ただスピードを上げて欲しいと再三お願いした。運転手さんが再度「どこまで」と言うので、帰るあて

のないまま「仙台へ」。運転手さんは驚いて「そんな遠くまで走れないよ」。必死でお願いすると「そんな遠くまで行くことできないし、無理だ」と再び断われた。私は必死でまたお願いした。「一応会社から許可がないと行けないし、今までそんなことなかったから多分駄目だ。一応聞いてみるから」と電話をかけた。運転手さんが走ってきて「会社からOKが出たから走るよ」。私は子供を抱きながらただ泣くばかり。「すみません、すみません」ばかりであとは何も言えなかった。「特別な事情があるらしいな」と聞かれても返事が出来ない自分。涙だけが溢れた。

夕方近く、福島県海づつに走っていると聞かされ、初めて車を降りて海を見たとき屈だったことが忘れられない。自分の心の中が荒れ狂っている時、どうしてこんなにも海は静かなんだろうと不思議に思った。夜半過ぎ仙台に着いた。

運転手さんの寛大な愛を受けて、このいのちのみことば『主の救いを見なさい』に触れる時、あの日、あの時神様に運ばれたように思えてならない。「神様」のかの字も知らない私共への計らいでした。浅間山荘事件の年でした。神様は人を通して計ってくださいることを、私は信仰の恵み、救いの恵みをいただいて気付かせていただきました。



空念を開ければ

東チモールのこと(1)

「仙台東チモールの会」羽倉正人



カトリック教会で東チモールのことを取り上げるのには何にも増して特別の意義があると思います。皆さまご存知のように、東チモールの人々にとってカトリック教会は現在、全くの心の支えであるとともに、具体的に救援を求めて身を寄せる場となっているからです。

1975年12月のインドネシア軍の侵襲以前、人口の3分の1程度であったカトリック信者の数が現在では、90数パーセントにまで達しているという事がそのことを明白に示しています。事実、東チモールのカトリック教会は、インドネシアの侵略によってもたらされた東チモールの人々の受難と叫びを共に体験し、救済の手を差し延べてきたからです。

このことを冒頭でまず申し述べておきたいと思います。



東チモールはオーストラリアに近い少スンダ列島の東端にある東チモールの東半分、面積は四国くらい。ポリネシア系の人が多い熱帯(サバナ)気候です。1975年11月の独立までは、400年近くポルトガルの植民地でした。

「みことばを、今、共に生きる」

一分かち合いの手引き

教 区 生 涯 養 成 委 員 会 発 行

仙台教区生涯養成委員会では90年3月から、「信徒が神からいただいた賜物を互いに分かち合いながら、キリストにおいて共に成長していく」ための助けとなるテキスト作りをしてきました。委員会で約一年の作業を経て、旧約聖書分『みことばを、今、共に生きる』1分かち合いの手引き」と題してテキストを今年の2月に完成させずでに小教区、教区内の司祭に各一部を配布しました。

今年度の基本方針として委員会では「信仰の生涯養成の基本的な鍵は、いかにして信仰について分かち合う場を、実生活の中に確保できるかである」としており、テキスト

は信徒がみことばに親しみながら、自分たちで信仰の相互養成を進めていけるように工夫されています。

第2バチカン公会議、第1回福音宣教推進全国会議はそれぞれに、みことばの大切さを強調していますが、聖書を読むのは難しいとか、一人で聖書を読み続けるのはできそうもないと、感じている人はテキストを手にとってください。

テキストは15課題39ページ、各課題ごと

に導入、いくつかのテーマへの解説、分かち合いのヒントで構成されています。聖書の中でも旧約にあまり親しみのない人、食わずぎらいのままになっている人はぜひ目を通してみてください。

新約聖書分は作業が続けていますが、もう少し時間がかかることが予想されます。
テキストの申し込みは教区事務所へ
一部 150円(送料別)

編 集 後 記

夏を目前にして協力者と一緒に編集をしました。発行は相変わらず不定期ですが、一息つきます▼ところで5月の召命促進キャンペーン各地ではどんな具合でしたか。一粒会の見直しと教区の将来を考へる機会になれば幸いです▼私たちの力は小さくても、神に励まされ、希望を持って生きましよう

原稿募集

各地のニュース、信仰体験記、考えていること、感じていること、写真やイラスト、読書感想文、教会行事・活動紹介、各種情報交換など
理解と協力をお願いします。

